

ケーブル貫通部防火措置材
タフロック60壁専用キット

仕 様 書

 **ネグロス電工株式会社**

技 術 部

タフロック 60 壁専用キット 仕様書
FT-仕様-第 09001C2 号

1. 製品概要

本製品は、ケーブル、電線管、バスダクト、空調配管が建築物内の防火区画となる壁や床を貫通する部分の防火措置工法のキット製品です。

⚠ 一部の電線管や空調配管が貫通する場合は、別売品の「ロクマルシート」や「ロクマルマット」が追加が必要です。

2. 防耐火性能と適用範囲

本製品は、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ「防火区画貫通部 1 時間遮炎性能」の規定に適合するものとして、表-1~2 に示した国土交通大臣認定を取得しています。

(認定の適用範囲の詳細は、認定書をご確認ください。)

表-1 国土交通大臣認定番号一覧

種類	部位	壁・床の構造	国土交通大臣 認定番号	詳細	最大 開口 面積 (m ²)	最大 占積率 (%)	適用貫通物 ○:適用可			
							ケーブル	電線管	空調衛生 設備配管	バス ダクト
ケーブル・電線管等貫通部	壁	鉄筋コンクリート、 ALC、中空壁等	PS060WL-0756	表-2	0.75	38.4	○	○ ^{※1,2}	○	-
		片壁 ^{※3} 等	PS060WL-0231	表-3	0.6	20	○	○	-	-
		金属ダクト貫通 鉄筋コンクリート壁	PS060WL-0153	表-4	0.6	92.2	○	-	-	-
バスダクト貫通部	壁	鉄筋コンクリート、 ALC、中空壁、 片壁 ^{※3} 等	PS060WL-0233	表-5	0.6	22	-	-	-	○

※1 ロクマルシート(別売品)が必要な場合があります。

※2 ロクマルマット(別売品)が必要な場合があります。

※3 片壁:片面強化せっこうボード 21mm 重張構造。

※4 鋼製スリーブ有り又は無し。

タブロック 60 壁専用キット 仕様書
FT-仕様-第 09001C2 号

表-2 ケーブル、電線管、空調配管等貫通部(壁工法)の適用範囲

国土交通大臣認定番号		壁工法:PS060WL-0756					
貫通部の構造	壁	建築基準法第2条第七号の規定に基づく耐火構造(60分) (例:鉄筋コンクリート壁、中空壁、ALC、床面配線(OAフロア)壁)	厚さ	60mm以上			
		建築基準法施行令第115条の2の2第1項第一号の規定に基づく準耐火構造(60分) (壁厚が100mmを超える中空壁の場合は、鋼製又は壁を構成する壁材と同等の材料による開口補強材を設けること)					
開口形状及び最大開口面積		矩形 0.75m ²					
最大占積率		38.4%					
ケーブルラック		鋼製、ステンレス鋼製、アルミニウム合金製 幅1220mm以下×厚さ1.2mm以上					
ワイヤーメッシュ状ケーブルラック		鋼製、ステンレス鋼製 幅1216mm以下×線径φ4mm以上、親筋間隔50mm以下、子筋間隔125mm以下					
最大ケーブル導体サイズ		6600V 1600mm ² (電線管内及びロクマルマット内は、6600V 325mm ²)					
電線管		処理方法と最大適用サイズ(mm)					
		本製品のみ (耐火ブロック、補助充填材)	ロクマルシート(別売品)の巻付け数			ロクマルマット(別売品)	
			1周以上	2周以上	3周以上	単管	複数管
合成樹脂製可とう電線管 (CD管、PF管) [JIS C 8411]		φ36.5 [呼び径 28](一段まで) 他の電線管内に通す場合 PF管: φ36.5 [呼び径 28] CD管: φ27.5 [呼び径 22]	φ52 [呼び径 42]	φ64.5 [呼び径 54]	—	φ64.5 [呼び径 54]	
波付硬質合成樹脂管 [JIS C 3653 付属書 1(IEP)]		—	φ55.5 [呼び径 40]	φ87 [呼び径 65]	φ134 [呼び径 100]	φ67 [呼び径 50]	
硬質塩化ビニル電線管 (VE)[JIS C 8430]		—	—	—	—	φ114 [呼び径 100]	φ26 [呼び径 22]
鋼製電線管 [JIS C 8305]		φ113.4 [呼び径 104] (全長150mm以上)	端部が露出する場合:1周以上 壁:片側又は両側			—	—
金属製可とう電線管 [JIS C 8309] (ビニル被覆あり又はなし)		φ110.1 [呼び径 101] (全長150mm以上)	端部が露出する場合:1周以上 壁:両側			—	—
空調衛生設備配管		処理方法と最大適用サイズ(mm)					
		本製品のみ (耐火ブロック、補助充填材)	ロクマルマット(別売品)			保温材*最大厚さ(mm)	
巻付け条件 (図-1参照)	最大サイズ						
銅管 [JIS H 3300、3320]		—	複数管	φ54	38(合成ゴム系に限る)		
アルミニウム管 [JIS H 4080]		—	複数管	φ44.5	20		
硬質ポリ塩化ビニル管 (VP、HVP、HT) [JIS K 6741、6742、6776]		—	単管	φ114 [呼び径 100]	—		
				φ76 [呼び径 65]	20		
結露防止層付硬質塩化ビニル管 (外層:塩化ビニルスキン層 中間層:塩化ビニル発泡層 内層:硬質塩化ビニル層)		—	複数管	φ32 [呼び径 25]	6		
				φ76 [呼び径 50]	—		
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル 発泡三層管 [JIS K 9798]		—	単管	φ76 [呼び径 50]	—		
被覆付可とう塩化ビニル管 (断熱ドレンホース) (外層・内層:ポリ塩化ビニル樹脂 断熱層:ポリエチレンフォーム)		—	複数管	φ37 [呼び径 25]	—		
可とうポリエチレン管(ドレンホース)		—	複数管	φ22 [呼び径 16]	—		
銅管 [JIS G 3442、3452、3454、 3455、3456、3458、3460]		φ101.6(保温材なし)	複数管	φ48.6	38(合成ゴム系に限る)		
				φ42.7	20		
ステンレス鋼管 [JIS G 3447、3448、3459]		φ101.6(保温材なし)	複数管	φ50.8	38(合成ゴム系に限る)		
				φ42.7	20		
※保温材の種類		発泡ポリエチレン系、発泡架橋ポリエチレン系、発泡ポリウレタン系、発泡ポリスチレン系、発泡ポリプロピレン系、 発泡エチレンプロピレン系、発泡フェノール系、発泡シリコーン系、発泡難燃ポリオレフィン系(酸素指数28以上)、 グラスウール(JIS A 9504)、ロックウール(JIS A 9504)、発泡合成ゴム系(ニトリル、ブチルゴム系)					

タブロック 60 壁専用キット 仕様書
FT-仕様-第 09001C2 号



単管(単管処理)
ロクマルマット 1 枚を配管 1 本毎に巻き付ける必要があります。

複数管(複数管一括処理)
ロクマルマット 1 枚で、複数の配管に対して一括で巻き付け可能です。ケーブルも混在できます。

図-1 ロクマルマットの巻付け条件

表-3 ケーブル貫通部(壁(片壁)工法)の適用範囲

国土交通大臣認定番号	PS060WL-0231		
貫通部の構造	壁	建築基準法第 2 条第七号の規定に基づく耐火構造(60 分)(例:片壁等) (厚さが 60mm 以上の鉄筋コンクリート壁、中空壁、ALC、床面配線(OA フロア)壁、準耐火構造の壁は、表-2(PS060WL-0756)をご参照ください。)	厚さ — (規定なし)
開口形状 及び 最大開口面積	矩形 0.6m ²		
最大占積率	20%		
ケーブルラック	鋼製 幅 1000mm 以下× 厚さ 1.6mm 以上		
最大ケーブル導体サイズ	6600V 325mm ²		
合成樹脂製可とう電線管 (CD 管、PF 管)[JIS C 8411]	φ 36.5 [呼び径 28](一段まで)		

表-4 金属ダクト貫通部(壁工法)の適用範囲

国土交通大臣認定番号	PS060WL-0153		
貫通部の構造	壁	ダクト [※] が貫通する鉄筋コンクリート壁 ※ダクト:鋼製 厚さ 2mm 以上	厚さ 100mm 以上
開口形状 及び 最大開口面積	矩形 0.6m ²		
最大占積率	92.2%		
最大ケーブル導体サイズ	600V 325mm ²		

表-5 パスダクト貫通部(壁工法)の適用範囲

国土交通大臣認定番号	PS060WL-0233		
貫通部の構造	壁	建築基準法第 2 条第七号の規定に基づく耐火構造(60 分) (鉄筋コンクリート壁、中空壁、ALC、床面配線(OA フロア)壁、片壁等) 両面強化石膏ボード重張木製下地間仕切壁(準耐火構造) (中空壁の場合は、鋼製又は壁を構成する壁材と同等の材料による開口補強材を設けること)	厚さ — (規定なし) 80mm 以上
開口形状 及び 最大開口面積	矩形 0.6m ²		
最大占積率	22%		
最大ケーブル導体サイズ	3000mm ² /枚		

タブロック 60 壁専用キット 仕様書
FT-仕様-第 09001C2 号

3. 施工例

本製品の施工例を図-2~4 に示します。

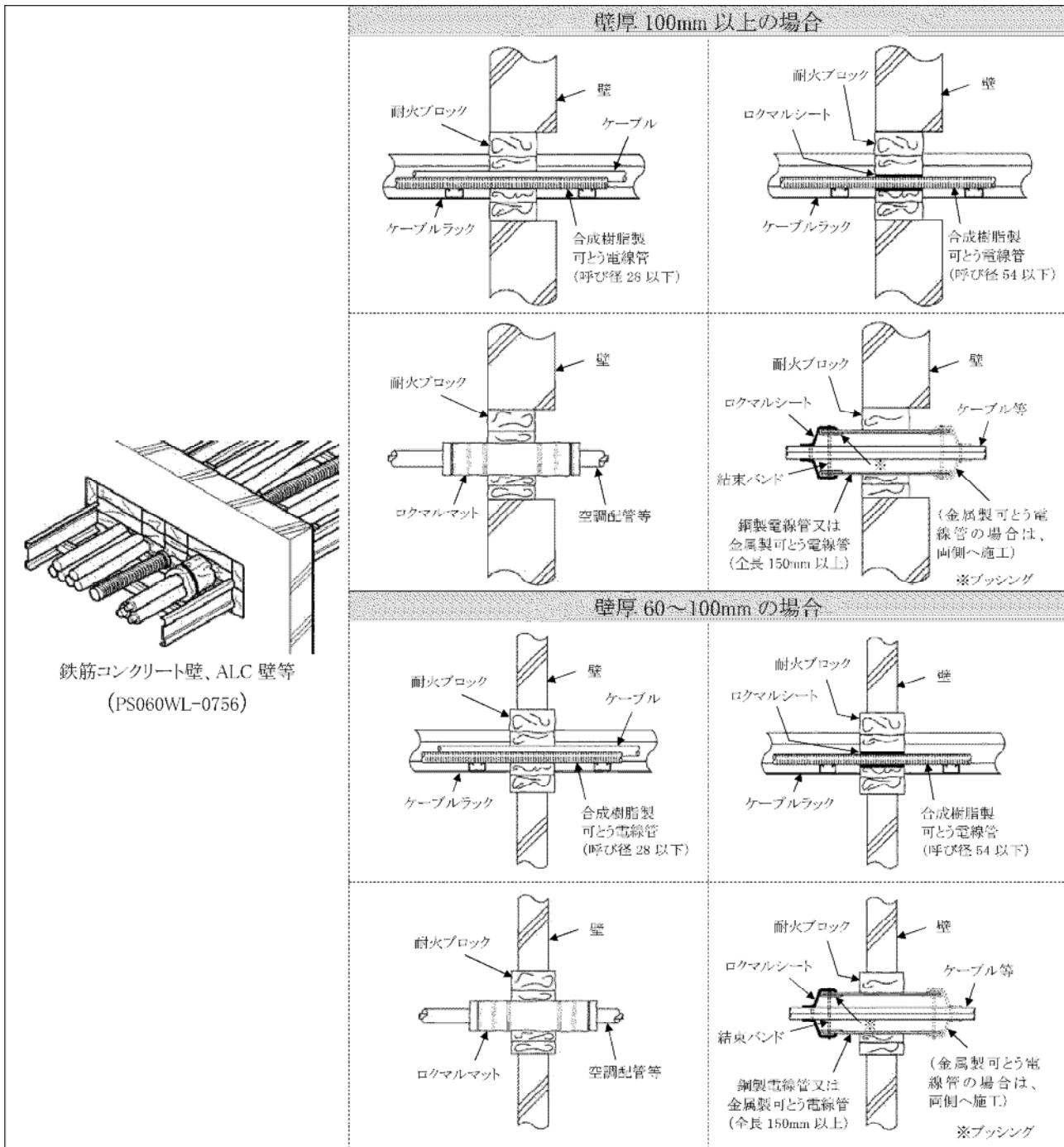


図-2 施工例(1/3)

タブロック 60 壁専用キット 仕様書
FT-仕様-第 09001C2 号

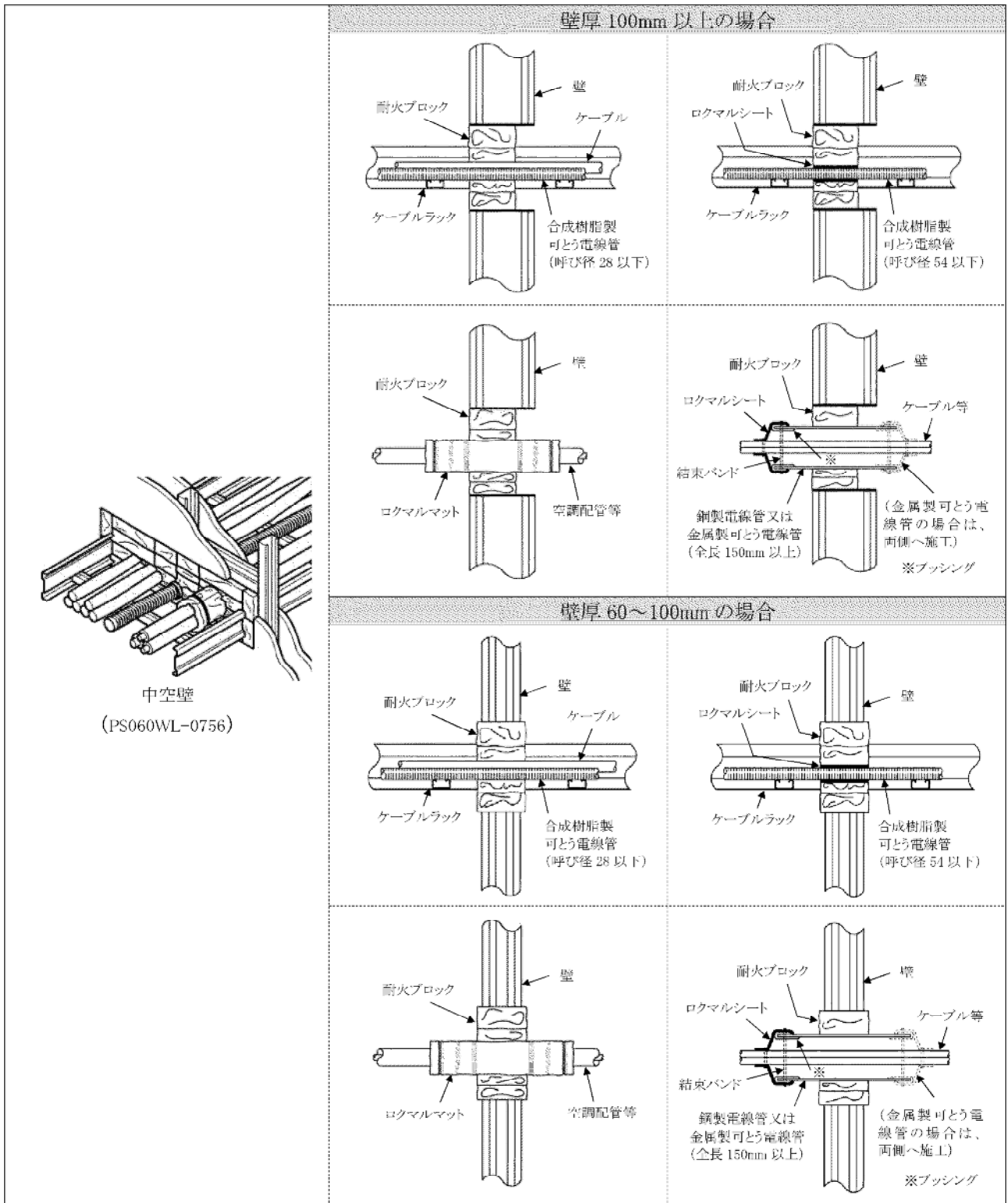


図-3 施工例(2/3)

タブロック 60 壁専用キット 仕様書
FT-仕様-第 09001C2 号

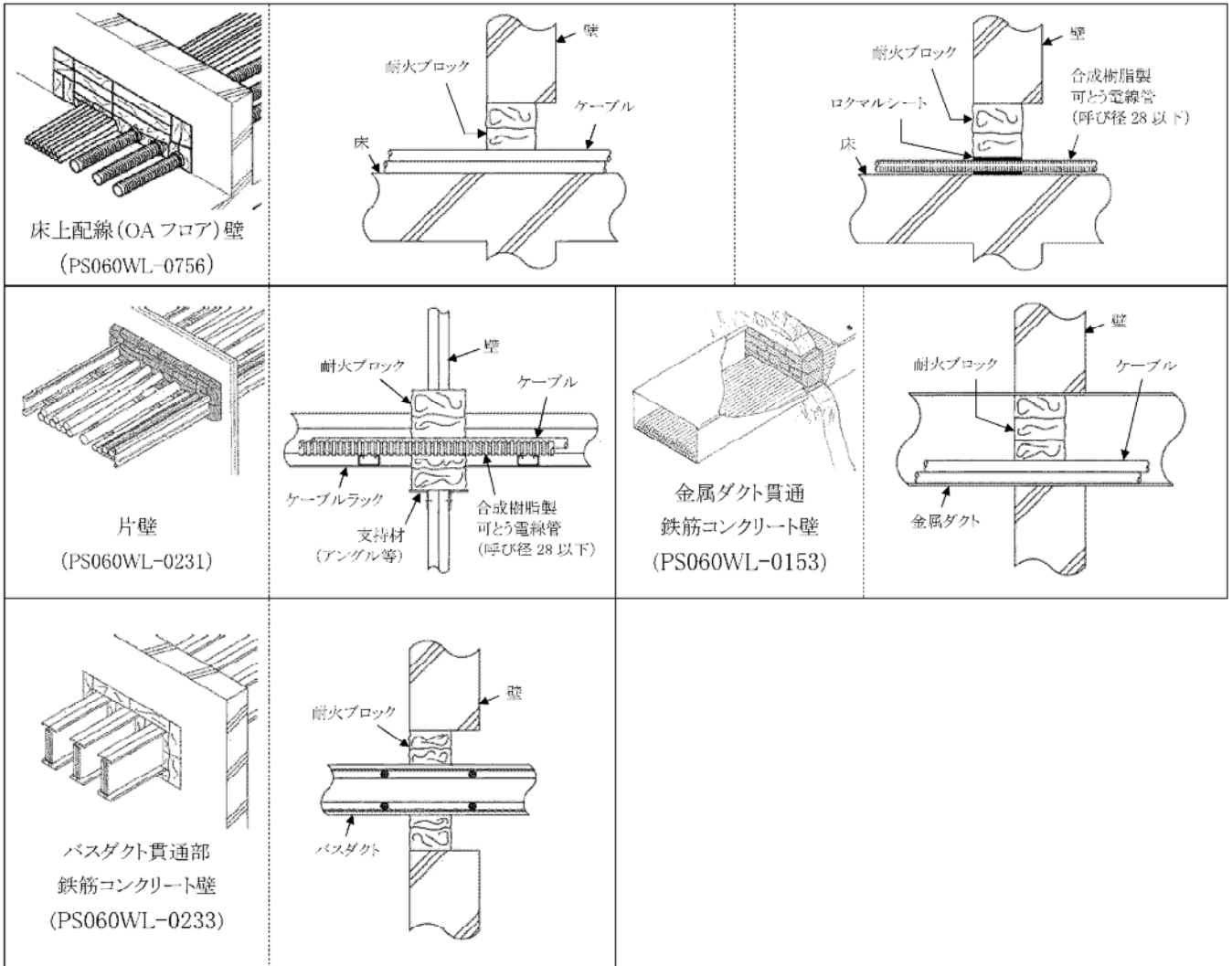


図-4 施工例(3/3)

タフロック 60 壁専用キット 仕様書
FT-仕様-第 09001C2 号

4. 品番および構成部材

本製品の各品番の適用開口寸法と構成材料を表-6、構成材料の一覧を図-5 に示します。
また、各構成材料の仕様を表-7 に示します。

表-6 各品番の適用開口寸法とキット品の構成材料

品番	開口面積 (m ²) ※1	標準 開口寸法 (mm) ※2	耐火ブロック(個)					補助 充填材 (個)	取扱 説明書 (枚)	工法表示 ラベル ※3
			SS	S	M	L	LL			
TAFWB-016	0.14~0.16	800×200	4	8	8	6	5	30 (3連)	1	1
TAFWB-020	0.18~0.20	1000×200	4	10	9	7	7			
TAFWB-024	0.22~0.24	1200×200	6	15	10	7	9			

- ※1 開口面積が0.24m²を超える場合(認定条件:0.6m²以下)は、開口面積分の品番を組み合わせでご使用になるか、または弊社にご相談ください。(組合せの例:開口面積0.30m²→TAFWB-024+TAFWB-006)
- ※2 品番に対する開口寸法は、標準値(設計上の目安)です。これ以外の寸法の場合は、その開口面積により品番を選定してください。
- ※3 工法表示ラベルを紛失された場合は、ホームページ(<http://www.negurosu.co.jp/>)から請求できます。なお、施工完了写真が必要になりますので、予めご注意ください。

単位:mm

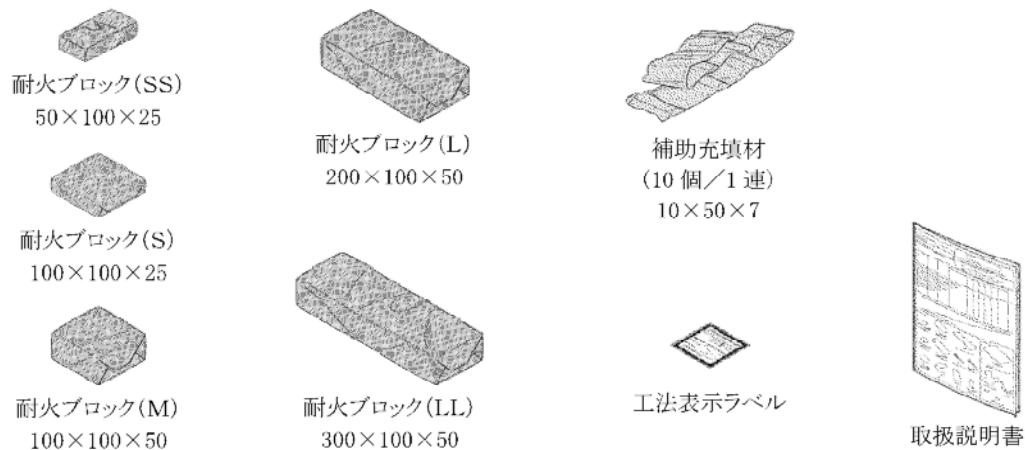


図-5 キット品の構成材料の一覧

タブロック 60 壁専用キット 仕様書
FT-仕様-第 09001C2 号

表-7 各構成材料の仕様

名称	仕様		
耐火ブロック	用途	開口部に充填して閉塞して、火災時の延焼を防ぐために使用します。	
	材質	主材	セラミックファイバーブランケットおよび熱膨張材
		外装材	ナイロン系不織布
	寸法	図-5 参照	
補助充填材	用途	耐火ブロックで塞ぎきれなかった隙間を塞ぐために使用します。	
	材質	主材	熱膨張材
		外装材	ナイロン系不織布
	寸法	図-5 参照	
取扱説明書	用途	製品の施工要領、施工上の注意事項を記載したものです。	
工法表示ラベル	用途	国土交通大臣認定工法であることを表示するためのラベルです。施工完了後、見える位置に貼り付けます。	

5. 梱包

本製品の梱包仕様を表-8 に示します。

表-8 梱包仕様

品番	梱包数量	梱包箱寸法(mm) 長さ×幅×高さ	梱包質量(kg)
TAFWB-016	1組/箱	390×315×220	5
TAFWB-020		480×315×220	7
TAFWB-024		550×315×220	8

タブロック 60 壁専用キット 仕様書
FT-仕様-第 09001C2 号

6. 注意事項

施工上の注意事項を表-9 に示します。

表-9 施工上の注意事項

耐火ブロックの取扱いについて	施工後の注意について		
<ol style="list-style-type: none"> 耐火ブロック及び補助充填材は、火災時の熱によって膨らみ、隙間を閉塞する機能がありますが、「開口部に隙間無く詰める」ことを基本とし、ていねいに施工してください。 耐火ブロックは、大小合わせて標準開口面積の 1.25 倍の量が梱包されています。開口部の状況に合わせて、適宜使い分け、曲げたり、圧縮したりしながら充填してください。 耐火ブロックは、軽く引っ張っても抜けない程度に密に充填してください。充填量が不十分な場合、防火性能に影響する可能性があります。 耐火ブロックが不足する場合には、品番 TAFTB-003 等をご用意ください。 耐火ブロックは、分解や切断をしないでください。また、破損した耐火ブロックは、使用しないでください。 	<ol style="list-style-type: none"> 空調配管や保温材は、設備の稼働に伴って、熱伸縮が起こる場合があります、その影響でコクマルマットや耐火ブロックがずれる場合があります。防火措置材周辺では、配管の支持固定を適切に行ってください。 検査等で防火措置材のずれが確認された場合は、適宜補修をしてください。度々ずれが生じる場合は、必要に応じて各部材のずれ対策を適宜ご検討ください。 パスタクトは、通電後の温度変化に伴って伸縮することがあります。この伸縮の影響により、耐火ブロックにずれや抜けが生じる恐れがありますので、施工後の定期的な検査などで、このような状態が確認された場合は、耐火ブロックを押し込むなどして適切な状態に戻してください。 		
<th data-bbox="161 981 804 1025">施工上の注意について</th>	施工上の注意について	<th data-bbox="804 898 1447 943">改修時について</th>	改修時について
	<ol style="list-style-type: none"> 下記のような状態の耐火ブロックは、新しいものに交換してください。 (ア) 包装材が破れて中が露出したもの。 (イ) 施工品質を保てないような変形をしているもの。 (ウ) 油などの異常な汚れがあるもの。 (エ) 水浸しになったもの。 再施工後は、工法表示ラベルを更新してください。 		
<ol style="list-style-type: none"> 仕上がり外観を重視するような場所では、施工後、必要に応じて化粧板等を使用してください。 防水機能はありません。直接雨水等がかかったり、常に高湿度になったりするような場所には使用しないでください。必要な場合は、別途防水・撥水処理を行ってください。 ケーブルや配管類の支持機能は、ありません。別途固定支持を検討してください。 防火措置部の上に乗らないようご注意ください。開口部を破壊して転落したり、隙間を生じて火災が貫通する恐れがあります。 	<th data-bbox="804 1167 1447 1211">工法表示ラベルについて</th>	工法表示ラベルについて	
	<ol style="list-style-type: none"> 工法表示ラベルは、本製品に1枚同梱しております。 工法表示ラベルを紛失した場合は、ホームページ(下記)から請求できます。 <p>ホームページアドレス http://www.negurosu.co.jp/</p>		

7. その他

本仕様書記載の内容は、製品改良等のため、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

以上